

中間期の概況

- 当中間期の連結業績は、ホテル事業資産の譲渡に伴う減収要因がありましたが、売上高は前年同期を上回り過去最高となりました。
- 国内線旅客は競争が熾烈化する中でも前年同期を上回る収入を確保しました。国際線旅客は堅調なビジネス需要に支えられ収入は前年同期を大きく上回りました。
- 原油価格高騰により燃油費が前年同期と比較して大幅に増加したこと等により、営業利益、経常利益は前年同期を若干下回りました。
- ホテル事業資産の譲渡益を特別利益に計上した結果、当期純利益は過去最高の1,055億円となりました。

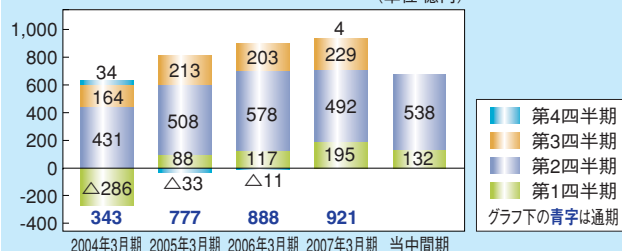
■経営成績

(単位: 億円)

	前中間期	当中間期	増減	前年同期比 (%)
営業収入	7,528	7,632	104	101.4
営業費用	6,840	6,961	120	101.8
営業利益	687	670	△16	97.5
営業外損益	△107	△103	4	—
経常利益	579	567	△12	97.9
特別損益	△11	1,120	1,131	—
当期純利益	332	1,055	722	316.9

■四半期ごとの営業利益の推移

(単位: 億円)



航空運送事業の売上高

(単位: 億円)

事業年度		前中間期 (2006年4月1日から 2006年9月30日まで)	当中間期 (2007年4月1日から 2007年9月30日まで)	増 減	
区 分					
航空運送事業	国内線	旅 客 収 入	3,729	3,812	82
		貨 物 収 入	151	150	△ 0
		郵便 収 入	45	38	△ 6
		手 荷 物 収 入	1	1	△ 0
		小 計	3,928	4,003	74
	国際線	旅 客 収 入	1,382	1,621	238
		貨 物 収 入	285	342	57
		郵便 収 入	16	20	4
		手 荷 物 収 入	2	2	0
		小 計	1,686	1,987	300
	航空事業収入合計		5,614	5,990	375
	そ の 他 の 収 入		678	670	△ 7
	合 計		6,293	6,661	368

(注) 1. 事業区分内の内訳は内部管理上採用している区分によっています。
2. 各収入は事業区分(セグメント)間の売上高を含んでおります。

輸送実績

事業年度		前中間期 (2006年4月1日から 2006年9月30日まで)	当中間期 (2007年4月1日から 2007年9月30日まで)	前年同期比 (%)
区 分				
国内線	旅客数(万人)	2,339	2,303	98.5
	座席キロ(億席キロ)*1	314	316	100.8
	旅客キロ(億人キロ)*2	204	201	98.5
	利用率(%)*3	65.1	63.6	△1.5
	貨物輸送重量(千トン)	223	225	100.8
	貨物輸送量(百万トンキロ)	216	217	100.3
	郵便輸送重量(千トン)	44	42	95.8
	郵便輸送量(百万トンキロ)	47	44	92.3
国際線	旅客数(万人)	223	242	108.3
	座席キロ(億席キロ)*1	128	141	109.9
	旅客キロ(億人キロ)*2	99	107	107.7
	利用率(%)*3	77.9	76.3	△1.6
	貨物輸送重量(千トン)	127	159	124.3
	貨物輸送量(百万トンキロ)	577	777	134.7
	郵便輸送重量(千トン)	7	7	97.2
	郵便輸送量(百万トンキロ)	31	34	109.7

(注) *1. 座席キロ: (座席数) × (運航キロメートル)
*2. 旅客キロ: (旅客数) × (運航キロメートル)
*3. 利用率: (旅客キロ) ÷ (座席キロ)

- 国内線にはIBEXエアラインズ(株)、北海道国際航空(株)、スカイネットアジア航空(株)および当期より(株)スターフライヤーとのコードシェア便実績を含みます。
- 国際線にはユナイテッド航空(関西～ホノルル線)およびエバー航空とのコードシェア便実績を含みます。
- 国内線、国際線ともにチャーター便実績を除いております。
- 国内線深夜貨物定期便実績を含みます。

■連結対象会社の状況

(2007年9月30日現在)

連結子会社 82社(新規連結2社・除外15社)
持分法適用会社 23社(新規なし・除外2社)

中間連結貸借対照表

(単位 億円)

	前期 (2007年3月31日現在)	当中間期 (2007年9月30日現在)
〈資産の部〉		
流動資産	4,220	5,922
現金及び預金	1,729	3,034
営業未収入金	1,232	1,161
有価証券	0	200
たな卸資産	607	646
繰延税金資産	94	146
その他	556	733
固定資産	11,795	11,013
有形固定資産	9,698	8,930
建物及び構築物	1,596	1,030
航空機	5,837	6,086
土地	943	465
建設仮勘定	968	1,033
その他	352	314
無形固定資産	430	431
投資その他の資産	1,667	1,652
投資有価証券	683	752
繰延税金資産	355	353
その他の投資	627	546
繰延資産	5	2
資産合計	16,020	16,938

■バランスシート:

【資産の部】7機の新規導入等により『航空機』資産は249億円増加しましたが、ホテル事業売却により『土地』、『建物及び構築物』、『その他』が減少(1,060億円)、結果、『固定資産』は前期末比781億円の減。一方でホテル事業売却に伴う『現預金』の増加1,304億円等により『流動資産』は1,702億円の増加。これらにより総資産は前期末比917億円増加して16,938億円になりました。

【負債の部】借入金返済や社債償還により有利子負債は前期末に比べ932億円減少して6,561億円に。未払税金の増加等を加減し『負債』全体では前期末比135億円減の11,825億円になりました。

【純資産の部】『利益剰余金』(中間純利益より支払配当金額を控除)が前期末比996億円増の1,791億円となったこと等により、『純資産』は前期末比1,053億円増の5,113億円に。この結果、自己資本比率は前期末の24.9%から4.9%上昇して29.8%になりました。

連結キャッシュ・フロー

(単位 億円)

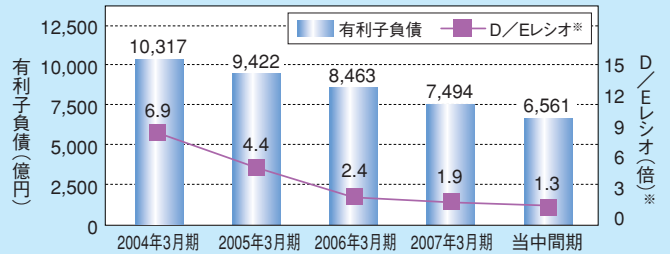
	前中間期 (2006年4月1日から 2006年9月30日まで)	当中間期 (2007年4月1日から 2007年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,138	1,115
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 355	1,302
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 838	△ 1,016
現金及び現金同等物の換算差額	△ 1	2
現金及び現金同等物の増減額	△ 56	1,404
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,371	3,126

(参考) 当中間期の設備投資額1,359億円(前中間期1,220億円)

	前期 (2007年3月31日現在)	当中間期 (2007年9月30日現在)
〈負債の部〉		
流動負債	4,730	4,905
支払手形及び営業未払金	1,989	2,039
短期借入金	35	34
一年以内に返済する長期借入金	1,102	710
一年以内に償還する社債	450	200
賞与引当金	153	180
その他	999	1,740
固定負債	7,231	6,920
社債	1,650	1,450
長期借入金	4,257	4,166
退職給付引当金	1,126	1,123
その他	198	179
負債合計	11,961	11,825
(有利子負債)	7,494	6,561
〈純資産の部〉		
株主資本	3,645	4,640
資本金	1,600	1,600
資本剰余金	1,257	1,257
利益剰余金	795	1,791
自己株式	△ 7	△ 8
評価・換算差額等	336	401
その他有価証券評価差額金	108	133
繰延ヘッジ損益	231	269
為替換算調整勘定	△ 3	△ 1
少数株主持分	76	71
純資産合計	4,059	5,113
負債、純資産合計	16,020	16,938

※当中間期1株当たり純資産258.87円(前期204.42円)

■有利子負債・D／Eレシオの推移



※D／Eレシオ＝有利子負債÷自己資本(株主資本＋評価・換算差額等)

*2006年3月期までは自己資本に「繰延ヘッジ損益」は含まれておりません。

(注) 貸借対照表に含まれない未経過リース料残高(リース債務)2,848億円を含めると当中間期の有利子負債は9,409億円となり、D／Eレシオは1.9倍となります。

決算に関する資料等は当社ホームページでもご覧いただけます。

ANA決算短信

検索

中間連結損益計算書

(単位 億円)

	前中間期 (2006年4月1日から 2006年9月30日まで)	当中間期 (2007年4月1日から 2007年9月30日まで)
営業収入	7,528	7,632
営業費用	6,840	6,961
営業利益	687	670
営業外収益	69	56
営業外費用	177	159
経常利益	579	567
特別利益	22	1,377
特別損失	33	257
税引前中間純利益	568	1,687
法人税、住民税及び事業税	210	742
法人税等調整額	19	△ 114
少数株主利益又は損失(△)	5	4
中間純利益	332	1,055

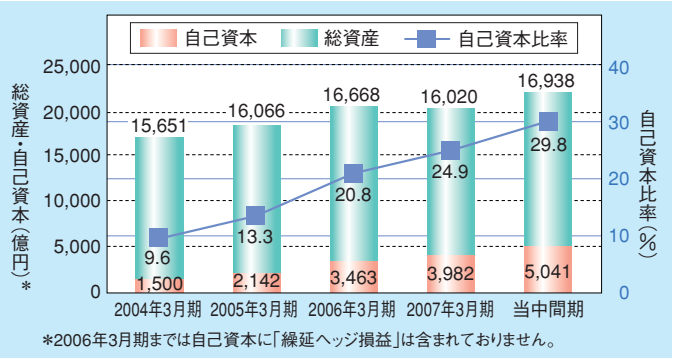
※当中間期1株当たり中間純利益54.16円(前中間期17.10円)

航空運送事業セグメント営業費用内訳

(単位 億円)

	前中間期 (2006年4月1日から 2006年9月30日まで)	当中間期 (2007年4月1日から 2007年9月30日まで)	増減
燃油費・燃料税	1,092	1,298	205
空港使用料	524	535	11
航空機材賃借費	437	433	△ 4
減価償却費	379	446	66
整備部品・外注費	311	294	△ 16
人件費	1,166	1,186	19
販売手数料	449	483	33
外部委託費	389	404	14
その他	933	951	17
合計	5,685	6,033	347

■総資産・自己資本推移



*2006年3月期までは自己資本に「繰延ヘッジ損益」は含まれておりません。

事業別セグメント情報

(単位 億円)

		前中間期 (2006年4月1日から 2006年9月30日まで)	当中間期 (2007年4月1日から 2007年9月30日まで)
航空運送事業	国内線	3,928	4,003
	国際線	1,686	1,987
	その他	678	670
	営業収入計	6,293	6,661
	営業費用	5,685	6,033
旅行事業	営業利益	607	627
	営業収入	1,090	1,139
	営業費用	1,065	1,120
ホテル事業	営業利益	24	18
	営業収入	334	—
	営業費用	302	—
その他の事業	営業利益	31	—
	商事・物販	712	705
	情報通信	123	120
	その他	159	147
	営業収入計	995	973
	営業費用	971	948
	営業利益	23	25
営業収入計		8,713	8,774
セグメント間消去		1,184	1,141
連結営業収入		7,528	7,632
営業費用計		8,025	8,102
セグメント間消去		1,184	1,140
連結営業費用		6,840	6,961
連結営業利益		687	670

航空運送事業 国内線旅客は需要が弱含みで推移する中、旅客数は前年同期をやや下回りましたが、運賃改定による単価向上等により収入は前年同期を上回りました。国際線旅客は堅調なビジネス需要および海外発需要に支えられ、旅客数・収入ともに前年同期を上回りました。国内線貨物の輸送重量は前年同期を上回りましたが、イールドの低下により収入は前年同期をわずかに下回りました。国際線貨物は委託運航を含め貨物専用機が6機体制となったこともあり、輸送重量・収入とも前年同期を上回りました。

旅行事業 国内旅行の売上高は堅調な個人消費を背景に前年同期を上回りましたが、海外旅行の売上高はチャーター便利用商品の減少等により前年同期をやや下回りました。全体の売上高は前年同期を上回りましたが、燃油費高騰に伴う仕入値の上昇等により営業利益は前年同期を下回りました。

その他の事業 商事・物販業の全日空商事(株)は増収増益となりましたが、当セグメント全体の収入は前年同期を下回りました。なお、営業利益は前年同期を上回りました。

※ **ホテル事業セグメント** 6月にホテル事業資産をグループ外に譲渡し、ホテル関連子会社15社が連結対象会社から外れたため、当期から消滅しております。

ANAグループ中間連結財務諸表

2007年4月1日～2007年9月30日 ※本文中の記載金額、数量は表示単位未満の端数を切り捨てております。

決算に関する資料等は当社ホームページでもご覧いただけます。 [ANA決算短信](#) [検索](#)

中間連結株主資本等変動計算書

(単位 億円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2007年3月31日残高	1,600	1,257	795	△ 7	3,645	108	231	△ 3	336	76	4,059
当中間期中の変動額											
剰余金の配当(注)			△ 58		△ 58						△ 58
中間純利益			1,055		1,055						1,055
自己株式の取得				△ 1	△ 1						△ 1
自己株式の処分		0		0	0						0
株主資本以外の項目の 当中間期中の変動額(純額)						24	37	2	64	△ 5	58
当中間期の変動額合計		0	996	△ 1	995	24	37	2	64	△ 5	1,053
2007年9月30日残高	1,600	1,257	1,791	△ 8	4,640	133	269	△ 1	401	71	5,113

(注) 2007年6月の定時株主総会における利益処分項目である。

ANA個別中間財務諸表

2007年4月1日～2007年9月30日

損益計算書

(単位 億円)

	前中間期 (2006年4月1日から 2006年9月30日まで)	当中間期 (2007年4月1日から 2007年9月30日まで)
営業収入	6,488	6,858
営業費用	5,913	6,277
営業利益	575	580
営業外収益	67	55
営業外費用	174	154
経常利益	468	481
特別利益	16	1,279
特別損失	36	250
税引前中間純利益	448	1,509
法人税、住民税及び事業税	158	698
法人税等調整額	28	△93
中間純利益	261	905

貸借対照表

(単位 億円)

	前期 (2007年3月31日現在)	当中間期 (2007年9月30日現在)
〈資産の部〉		
流動資産	4,434	5,309
固定資産	10,580	10,715
繰延資産	3	1
資産合計	15,018	16,026
〈負債の部〉		
流動負債	4,382	4,740
固定負債	6,800	6,545
負債合計	11,182	11,285
〈純資産の部〉		
株主資本		
資本金	1,600	1,600
資本剰余金	1,253	1,253
利益剰余金	651	1,498
自己株式	△ 6	△ 8
株主資本合計	3,498	4,343
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	106	127
繰延ヘッジ損益	230	269
評価・換算差額等合計	336	396
純資産合計	3,835	4,740
負債純資産合計	15,018	16,026